

資料 1 前回都市計画審議会の振り返りと対応

< 令和 6 年度第 3 回朝霞市都市計画審議会 >

日時：令和 6 年 12 月 23 日（月）14：00～16：00

場所：朝霞市役所 別館 2 階 全員協議会室

ご意見（要約）	対応方針
●将来都市構造図について	
将来都市構造と各まちづくりのテーマの方針図との関係性がわからなく、将来都市構造図がどのようなのかイメージが付かない	将来都市構造の考え方とまちづくりのテーマの方針図との関係性を再整理する（次回（令和 7 年度第 1 回都計審）対応予定）
今後地域別構想を考えた後に将来都市構造を変更することは可能か	次回に将来都市構造を固めるのではなく、地域別構想の検討も踏まえ更新していくこととする
●まちづくりのテーマについて	
テーマ「持続可能」の表現は再検討すること	テーマの名称はそのままとし、各テーマのまちづくりの考え方の説明の中で朝霞らしさを取り入れた整理をすることとした。（資料 2 参照） テーマ「持続可能」の表現は検討中
テーマに「朝霞らしさ」を入れ込む必要があると思う。例えば、テーマ「にぎわい・活力」に「彩夏祭」等のイベントに関すること、テーマ「快適な移動」にウォーカブルに関することなどを入れると良いのでは。	
テーマ「安全・安心」について、昔に開発が進められた密集市街地や古いマンションが立地する場所についての防災面での対応が必要であり、テーマの取組みとして検討してもらいたい	地域の状況に応じて対策内容が異なることから、地域に適した対応ができるようテーマ「安全・安心」の取組の 1 つとして整理した。（資料 2 参照）
市街化調整区域に福祉施設が立地している傾向にあるが、今後どのような対応をしていくのか。	市街化区域では福祉施設がある程度分散していることは地域の生活利便性の確保の観点から問題ないと考えている。 一方で、駅に近い市街化調整区域に民間の福祉施設が整備されている状況にあり、現時点では立地に対して抑制することは考えていないが、市民の意見や総合計画の検討等を踏まえ対応を検討していく。
「具体的な取組の内容（案）」となっているが、抽象的な表現もあり、取組内容がわかりにくい。	ご意見を踏まえ、各テーマに対して、大柱、小柱、小柱に対応する取組の例の 3 つの構成で再整理した。（資料 2 参照） 具体的な取組の内容は調査中

ご意見（要約）	対応方針
国道 254 号バイパス沿道にポテンシャルがあるのなら、大型商業施設の誘導を考えていくべきではないか	国道 254 号バイパス沿道は、水害の発生の危険性があることから、商業施設等の立地と合わせた防災性の強化を図っていくことは必要と認識しており、誘導に向けた取組をテーマ「にぎわい・活力」に位置づけた。（資料 2 参照）
朝霞市の取り巻く社会動向の整理が網羅できているのかを説明してほしい	社会動向に関する資料を各委員に郵送し共有した。
テーマ「私らしい暮らし」で市の都市施設の可視化し、地域福祉の課題とリンクできるようにしてもらいたい。住民が住み続けられる環境を整えるためには地域福祉の確保が大切だと思う	ご意見を踏まえ、地域福祉施設の立地状況を可視化できるよう資料を作成する。（次回都計審までに対応予定）
●その他	
課題を埋めていくような現状の進め方だと特色のないまちになる恐れがある。市民意識調査の結果から、評価の良いことをピックアップしなければ、朝霞の特徴づくりにつながらないのではないか。	各テーマに関する課題・現状では、課題と強みの違いが分かるような表現に工夫した。（資料 2 参照）
5 つのテーマは市民にもわかりやすい良い構成だと思うが、項目が多いので計画が期限内に完成させられるのかが心配である。全体計画で決定する必要のある項目を明示しておくべきである	ご意見を踏まえ、都市マス策定までのスケジュールを再検討し、来年度 1 回都計審を増やすこととした。また、各回での到達点を明確にするようにする。